

定詞以下が真の目的語。

2 【解答】

- 1) to save[rescue] 2) To visit
- 3) It, for, to think 4) which way to
- 5) It, to collect

【ワンポイント解説】

1) 不定詞が文の補語となっている。save A from B「BからAを救う」2) 不定詞が文の主語。life-long「生涯の」3) 形式主語のitを使った文。不定詞の意味上の主語は〈for + 名詞/目的格の代名詞〉で表す。logically「論理的に」4) 〈疑問詞 + 不定詞〉「何を[どこで, どのように, など] ~すべきか」5) 形式主語のitを使った文。goal「目標」

3 【解答】

- 1) how to 2) it, to 3) It, to 4) for, to

【問題文訳】

- 1) このコピー機の使い方を教えてもらえますか。
- 2) 彼らを助けようとするのはむだだと思いますか。
- 3) 古着にお金をかけるなんてばかっている。
- 4) その種の本を読むことは, その少年にとって簡単だ。

【ワンポイント解説】

- 1) how to do「どのように~すべきか, ~の仕方」
- 2) 形式目的語のitを使った文。useless「むだな」
- 3) 形式主語のitを使った文。used clothes「古着」
- 4) 〈It ~ for + 意味上の主語 + to do〉の形式主語を使った文。

4 【解答】

- 1) me not to 2) ○ 3) for me to understand
- 4) ○

【ワンポイント解説】

1) 不定詞を否定するときは不定詞のtoの前にnot[never]を置く。2) 〈疑問詞 + 不定詞〉「何を[どこで, どのように, など] ~すべきか」の形。この場合は「どのくらいの量の」なので, howのあとに量を表すmuchが入った形にする。3) 不定詞の意味上の主語は不定詞の直前に置く。4) 不定詞が文の主語となっている。

5 【解答】

- 1) My dream is to become a doctor (like Black Jack some day.) (I 不要)
- 2) (Our coach always) tells us never to give up (.)(don't 不要)
- 3) (Do you) know who to give this book to (?) (I

不要)

- 4) (It is) necessary for you to learn how to (use the new computer.) (of 不要)
- 5) (The nurses) believed it their duty to help their patients (.)(are 不要)

【ワンポイント解説】

1) 不定詞が文の補語。2) 不定詞を否定するときは不定詞の直前にnot[never]を置く。3) who to do「だれを[に] ~すべきか」で表す。4) 〈It ~ for + 意味上の主語 + to do〉の形式主語を使った文で表す。「~の仕方」はhow to do。5) 形式目的語のitを使った文で表す。「患者を助けること」が真の目的語。duty「義務」

English Composition

- 1) It's[It is] difficult to judge people by appearance(s).
- 2) They decided to use their own cups.
- 3) I didn't[did not] know where to go for help.

【ワンポイント解説】

1) 形式主語のitを使った文。「~を判断する」judge 2) 不定詞がdecideの目的語。「自分自身の~」one's own ~ 3) 「どこに行くべきか」where to go

Try! ★★

【解答】①

【ワンポイント解説】

〈疑問詞 + to do〉。「何を~するか」はwhat to doを用いる。

Lesson 14 不定詞 (2)

1 【解答】

- 1) to help 2) to read 3) to buy[get]
- 4) to find 5) to order

【ワンポイント解説】

1) 2) 形容詞用法。名詞(plan, time)について不定詞で説明している。3) 「目的」を表す副詞用法。4) 「結果」を表す副詞用法。only to doで, 残念な結果を表す。5) be ready to do「~する準備ができています」

2 【解答】

- 1) ③ アンが去ってしまったことを知って少年はとてがっかりした。
- 2) ④ 私のメールに返事をしないと, 彼女は本当に忙しいに違いない。

- 3) ② 彼らは毎日遅くまで練習したが, 結果的に試合に負けてしまった。
- 4) ① 私の父は野生のきのこを採りに山に入って行った。

【ワンポイント解説】

不定詞の副詞用法の意味を判断する。1) 「~して(がっかりした)」と感情の原因を表している。2) 「~するとは(彼女は忙しいに違いない)」という判断の根拠を表している。3) ... , only to do「...して(その結果)~」4) 「~するために」目的を表している。

3 【解答】

- 1) (b) 2) (a) 3) (c) 4) (d)

【問題文訳】

- 1) 電車の中に傘を置き忘れるなんて, 彼は不注意だった。
- 2) ジョンは利己的で, いっしょに働くのはとても難しい。
- 3) 私たちはその下で眠るための大きな木を探している。
- 4) そこは, 暑い季節には最も訪れたくない場所だ。

【ワンポイント解説】

1) 「彼が不注意だ」と判断する根拠を表す不定詞を選ぶ。2) 形容詞(difficult)の意味を限定する不定詞を選ぶ。「~するのに[~するのが]...だ」3) 4) それぞれa big tree, the last placeを形容詞用法の不定詞が後ろから修飾している。

4 【解答】

- 1) to, with 2) to fail[forget]
- 3) in order [so as] to

【問題文訳】

- 1) a) 彼女はついに友だちを見つけた。彼女はその友だちといっしょに世界一周旅行ができる。
b) 彼女はついにいっしょに世界一周旅行ができる友だちを見つけた。
- 2) a) 彼女はドアに鍵をかけなかった。彼女はとても急いでいたに違いない。
b) ドアに鍵をかけなかった[かけるのを忘れる]なんて, 彼女はとても急いでいたに違いない。
- 3) a) b) 俳優たちは観衆を楽しませるために一生懸命努力している。

【ワンポイント解説】

1) 「いっしょに旅行できる友だち」と考えて, 不定詞の形容詞用法で表す。2) 「彼女が急いでいたに違いない」という判断の根拠を示す副詞用法で表す。3) so that S can Vは「SがVできるた

めに」という意味。目的を表す副詞用法で表す。audience「聴衆」

5 【解答】

- 1) His goal to own his own house was (achieved.)
- 2) The clerk was willing to show us the suitcase (.)
- 3) (This mountain) is almost impossible to climb (.)
- 4) (She) put on a heavy jacket in order not to catch a cold (.)
- 5) (Mr. and Mrs. Smith) were very pleased to dance with their guests (.)
- 6) Our teacher is the last person to oppose (the plan.)

【ワンポイント解説】

1) 「~という...」と同格を表す形容詞用法を使って表す。one's own「自分自身の~」own「~を所有する」2) be willing to do「~するのをいとわない」3) 形容詞の意味を限定する不定詞の副詞用法。形式主語のitを使って書き換えることもできる。4) in order not to do「~しないように」notの位置に注意。5) 「うれしかった」(感情)の原因を不定詞で表す。6) 〈the last + 名詞 + 不定詞〉「最も~しそくない人」opposeは他動詞で「~に反対する」

English Composition

- 1) I went to France in order to study French.
- 2) My mother got[was] angry to find[see] me at the shop[store].
- 3) This song is very easy to sing.

【ワンポイント解説】

1) 「~するために」はin order to do。2) 怒った(got angry)原因を, 不定詞をあとに続けて表す。3) 形容詞(easy)を不定詞で限定する。「~するには...」

Try! ★★

【解答】②

【ワンポイント解説】

「女性は中の卵を割らないように注意深く買い物袋に品物を詰めた」so as not to do「~しないように」notの位置に注意。

Lesson 15 不定詞 (3)

1 【解答】

- 1) Mr. Hasegawa seems to be away on business.
- 2) His mother seems to have been a math